

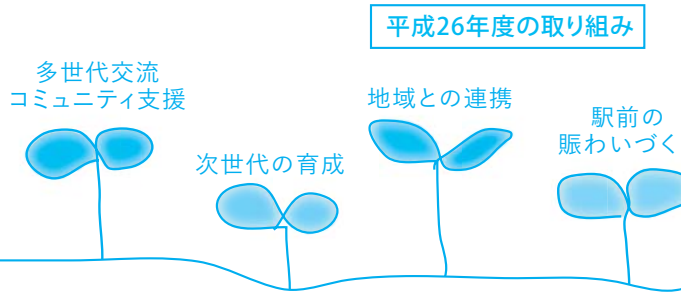
Practice in Yokodai

取り組みの実践・展開

洋光台地区全体の活性化を図る取り組み「ルネッサンス in 洋光台」は、平成 23 年度から取り組みをはじめ、平成 27 年度には 5 年目を迎えます。

平成 23 年度～平成 25 年度は、アドバイザー会議（Vol.1 参照）やエリア会議・住民ワークショップ（Vol.2）などディスカッション中心の取り組みを行いました。平成 26 年度～平成 28 年度は、これまでに議論し、準備を進めてきたことを具体的なアクションとして起こし、それを通じて様々な試行実験等を行う実践・展開の期間であると捉えています。

平成 26 年度はその始まりとして、「駅前の賑わいづくり」「多世代交流・コミュニティ支援」「次世代の育成」「地域との連携」を軸としたアクションを洋光台駅前地区で行い、洋光台地区にお住まいの方、関わりのある方、たくさんの方に洋光台地区の活性化の一步を肌で感じていただきました。平成 27 年度以降は、それらのアクションが根付き、洋光台地区全体に広がるとともに、新たなアクションへの取り組みを行って行きます。



平成26年度の取り組み

コミュニティ活動のチャレンジスペース【CC ラボ】

※活動詳細は中面をご覧ください

【CC ラボ】は、洋光台エリア会議に係るワークショップでの意見を受けて、洋光台地区のコミュニティを元気にする活動の試行実施の場として洋光台中央団地のサンモール広場に面した場所に開設しました。短期間（1～7 日間など）利用できる「Short Lab（ショートルラボ）」と長期間（1 ヶ月単位）利用できる「Long Lab（ロングラボ）」の 2 箇所があり、平成 26 年 3 月のオープンから平成 27 年 3 月の約 1 年間で、約 50 以上の団体・個人の方が約 70 以上の活動を実施しました。

まずは 1 年間の試行実施の予定でしたが、1 年間の試みを通じ、洋光台でのコミュニティ活動に更なる広がりが期待されること、【CC ラボ】での活動を実施される方、参加される方、双方からの存続を求める声が相次いだことから、試行期間を 1 年間延長することになりました。新たなコミュニティ活動のチャレンジの試行実施の場として洋光台地区が元気になる活動がどんどん生まれ、育っていくことが期待されています。



◀ CC ラボ

洋光台地区のほぼ中央に位置する JR「洋光台」駅から徒歩 3 分、UR 洋光台中央団地サンモール洋光台（商店街）の一角にあります。



Happy★ハロウィン in 洋光台 2014

平成 23 年まで地域の商店街、はまぎんこども宇宙科学館、洋光台駅前公園こどもログハウスが協力して開催していたハロウィンイベントをもっと多くの方が楽しめる賑わいのあるイベントにしようと、ルネッサンス in 洋光台も参加し、洋光台まちづくり協議会の主催で 2 子平成 24 年 10 月に開催しました。多くの方の尽力・協力もあり、イベントは大盛り上がり、洋光台駅前がたくさんの笑顔であふれました。



主催：洋光台まちづくり協議会／開催日：平成 26 年 10 月 25 日（土）・26 日（日）／場所：洋光台駅前公園こどもログハウス・はまぎんこども宇宙科学館・サンモール洋光台駅前広場・CC ラボ・サンモール洋光台商店街・ショップ 27・その他洋光台周辺店舗



地球と人にやさしい環境展@洋光台

Happy★ハロウィンに続くイベント第 2 弾「地域と連携し、洋光台のまちを元気にするイベント」を洋光台まちづくり協議会の主催で開催しました。このイベントの目玉は洋光台の小学生が描いた環境絵日記。約 500 点すべての展示を CC ラボで行うとともに、環境への関心を高めるイベント、環境絵日記をヒントに大人たちが洋光台で出来ることや洋光台の未来について考えるワークショップを行いました。



主催：洋光台まちづくり協議会／開催日：平成 27 年 1 月 30 日（金）・31 日（土）・2 月 1 日（日）／サンモール洋光台駅前広場・CC ラボ・UR 洋光台中央団地集会所

＊「環境絵日記」は横浜市資源リサイクル事業協同組合の登録商標です。



まちのイベント・活動

洋光台地区では地域の方々が主催するイベントや活動がたくさんあります。夏祭りに桜祭り、梅の里まつり、音楽のつどい、各商店会のイベント、プレイパークや防災……。新しいイベントもまちを賑わし、今後の活性化につながっていきますが、地域に根付いたイベントも大事にし、育てていくべきものです。

ルネッサンス in 洋光台は地域イベント「梅の里まつり」（毎年 2 月下旬開催）に平成 25 年から参加させていただき、洋光台での取り組みの紹介を続けてきました。平成 27 年は梅の里まつりを盛り上げる活動の一つとして「出張 C ラボ」をイメージ、子どもが楽しめる帽子づくりワークショップを実施しました。

また、地域の方々の手によって作り守られている「トンボ池」での自然観察教室、子どもたちが外で思いっきり遊ぶ機会をつくるプレイパークなどの活動にも参加するなど、地域で行われているコミュニティ活動との連携を深めています。



洋光台地区諸元

〔住 所〕	神奈川県横浜市磯子区洋光台 ほか
〔面 積〕	約 207.5ha（洋光台土地区画整理事業区域）
〔人口・世帯数〕	約 2.5 万人・約 1.1 万世帯（H22 年国勢調査）
	UR 賃貸住宅 計 3,350 戸
	旧公団分譲住宅 約 1,500 戸
	市営・県営住宅 約 1,500 戸
	民間集合住宅 約 2,200 戸
	戸建て住宅 約 2,700 戸

RENAISSANCE in 洋光台 03（2015/9/25 エリア会議）	
編集・発行	独立行政法人都市再生機構 東日本賃貸住宅本部 神奈川エリア経営部
制 作	（株）ディーワーク
発行日	2015 年 10 月 1 日

本出版物の一部または全部を無断で複写、複製、あるいは転載することを禁じます

RENAISSANCE in

洋光台 03



Practice in Yokodai 取り組みの実践・展開



Community Challenge Lab CCラボでのチャレンジ

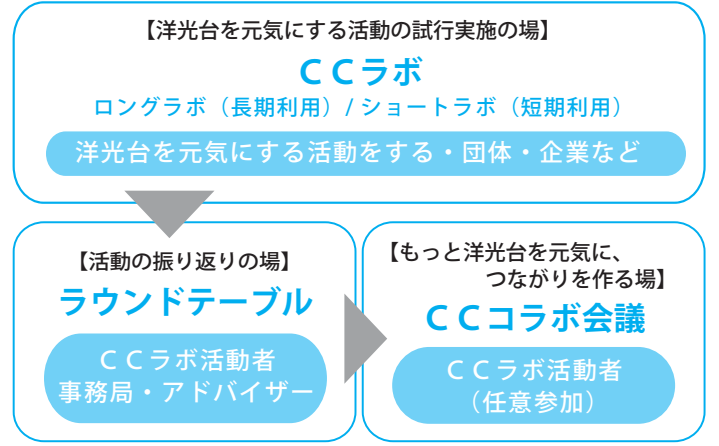


Community Challenge Lab

CCラボでのチャレンジ

CC ラボは Community Challenge Lab（コミュニティ・チャレンジ・ラボ）の略称です。平成 26 年 3 月から平成 27 年 3 月までに洋光台を元気にする多様な活動が生まれました。

CC ラボはただの貸しスペースではありません。洋光台を元気にする試行実験の場ですから、3 ヶ月ごとに CC ラボでの活動を振り返る会「ラウンドテーブル」や CC ラボで活動された皆さんが集まってつくる「CC コラボ会議（通称 CCC）」での活動を通じて、より良い CC ラボ、より良い洋光台での多世代交流・コミュニティ活性化について議論・検討を重ね、洋光台をもっと元気にしていきます。



ラウンドテーブル・CC コラボ会議

ラウンドテーブルは CC ラボで活動した活動者のつながりの場です。CC ラボでの活動の振り返りから活動の成果や課題、CC ラボの課題などを意見交換しながら、コミュニティ活動のアドバイザーとともにより良い CC ラボ、より良い洋光台を考えています。

ラウンドテーブルで出された「洋光台を元気にをもっと力強く」「事務局任せでなく自分たちでやる、発信する」「1 周年に向けて活動者が協力して何かできないか」といった意見から、CC コラボ会議（通称 CCC）が発足。CC ラボや自分たちの活動を広く知ってもらい、洋光台をもっと元気にするためのイベント「CC ラボ開設だいたい 1 周年イベント」を企画・実施しました。

商店の方々と知り合ったり、お店を利用して笑顔であいさつを交わすようになった。ラボと商店の交流で、全体で洋光台をなめらかにしていけたらと思う。



活動者 A さん



いつもみんなが集える場として

ロングラボは 1 ヶ月間連続した活動が行える場所です。1 ヶ月のゆっくり座ってくつろげる機能を軸にさまざまな講座やイベントなどを組み合わせる活動が行われました。長期間活動を続けることで、その活動が定着し、常連さんができたり、まちの情報を収集・発信するという機能が少しずつ見えはじめました。一方で一ヶ月では活動や機能が定着しないという課題も見えはじめ、平成 27 年 7 月からは 3 ヶ月までの利用ができるように利用規約を改正、新しいチャレンジがはじまります。



若い世代の活動の場

洋光台地区・洋光台周辺地区の大学生・高校生も CC ラボを使った活動をしています。自分たちを含めた若い世代が楽しめる活動を行ったり、部活動の成果を披露したり、就労体験をしたり…。これまでになかった CC ラボの使い方も飛び出し、若い世代ならではのパワーで CC ラボを楽しみながら活動しています！



大学連携・企業連携の場

CC ラボを利用した大学連携・企業連携も行われています。慶應義塾大学加藤文俊ゼミでは、団地の暮らしに着目したフィールドワークを実施。学生たちが洋光台で調査を行い、その途中経過や成果を CC ラボで発表しました。



また、洋光台や横浜に拠点をおく企業が CC ラボを利用。CSR の一環として、洋光台を元気にする活動を展開しました。その内容・対象は企業によって異なりますが、子ども向けから高齢者向けまで、幅広い活動が行われました。



活動者 B さん



子育て中の母親がささいな事で相談できる場がある事で、それをきっかけに、本当に困っている事の相談につなげる事が出来て、本当にやって良かったと思うと同時に、「もう終わってしまうの？」という声も多く聞かれて、この様な場の必要性を強く感じました。



▲私立洋光台学園生徒会「帰宅部室」

「洋光台に若者のたまり場を」と企画した活動には、大人は一切口出しなし！訪れた小学生～大学生・大人は床ダン（ボール）の上で、話をしたり、本を読んだり、ゲームをしたり、卓球したり、勉強したり…思い思いに自由な時間を過ごしました。

私の活動でまちを元気に！

ショートラボは 1～7 日間の活動が行える場所です。ロングラボのように 1 ヶ月連続ではないので、自分が今やっている活動や取り組み、趣味などをショートラボで披露することによって、洋光台の人を取り込み元気にしていこうという気持ちが見えました。自分が楽しんでいることを発信、知って貰って仲間になって楽しんでもらいたい、自分の活動や知識を通じて、元氣になってもらいたい。本当にさまざまな想いのこもったたくさんの活動が展開されました。



ルネッサンス in 洋光台の活動の場

CC ラボは洋光台に係わる方々が洋光台を元気にするための活動をする場ですが、ルネッサンス in 洋光台の活動の場でもあります。

ショートラボでは月に 1～3 日程度の事務局利用日を設けて、地域の方々と意見交換をするワークショップや、洋光台のまちあるきや情報発信を考えるワークショップ、次世代の人材を育成する担い手講座、地域イベントの準備など、オープンスタイルで洋光台の活性化につながる活動をしています。

また、CC ラボの活動者のつながりづくりや新たな活動スタイルの提案や情報発信の試みとして「洋光台ものづくり学部」を行っています。



地域に開かれたこのような場があるとよいと思います。気軽に集うことができ、自分のやりたいことをやる→仲間ができる→そこから何かが生まれる→活性化していくことになるのでは。



活動者 C さん



活動者 D さん

月 1 回楽しみにして来てくれる人がいてははじめは小さな声で歌っていた人もだんだんマイクを持って歌いはじめ楽しそうにしている人を見るとこちらも楽しくなります。